

竹 工

- 釣 竿 中山賢士作、根上吾郎作
- た も 中山賢士作
- 堤 灯 ◆弓張堤灯
◆吊堤灯 旭工芸(有)製
- 和 傘 ●手 籠



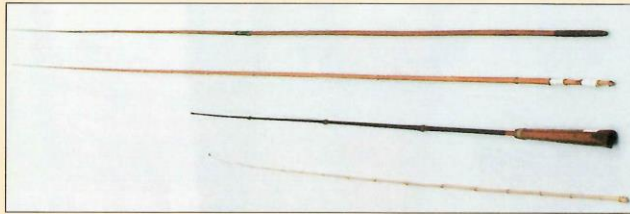
和 傘



弓張堤灯



手 籠



釣 竿

漆 工

- 乾 漆 盤 本間彝華作
- 磯草塗飾棚 斎藤八惣八作
- 岩石塗盛器 斎藤八惣八作
- 重 箱
- お 膳
- 野 弁 当



蓮乾漆盤



磯草塗飾棚



重 箱



お 膳



染 織

- 藍 染 ◆のれん ◆箆笥掛布
◆印半纏 個人蔵
- 型 染 ◆袴 ◆型紙 ◆巻見本
◆色見本 ◆染料 ◆着物
- 反応染 ◆大漁旗 ◆印半纏
斎藤染工場製



のれん



箆笥掛布



袴



巻見本



大漁旗



印半纏

ローソク

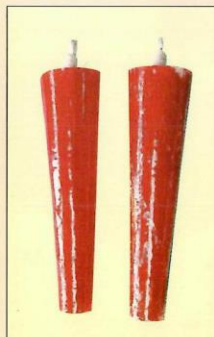
- 花ローソク ●里の灯
平野屋ローソク製
- 朱ローソク
堀田ローソク製造所製
- 灯台物語
キャンドルクラフト後藤製



花ローソク



里の灯



朱ローソク



灯台物語

【第106回企画展示】

酒田の工芸展

— 息づく用と美の調和 —

2階/酒田の歴史と民俗資料展



斎藤兼吉(如齋)作
1925年パリ万国装飾美術工芸博覧会受賞作品

開催期間 平成11年7月9日(金)~9月19日(日)

開館時間 午前9時~午後4時30分

休館日 なし

入館料 大人100円 児童・生徒50円

65歳以上の方と身体障害者の方は無料です。

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 TEL(0234)24-6544 FAX(0234)24-6544

◆開催にあたって◆

この度企画展で、「用」と「美」あるいは「機能」と「装飾」という一見互いに矛盾する2つの要素が同時に1つのもののうちに要求される工芸について取り上げてみました。

近年、伝統工芸が需要の減少や生活の変化により伝統を引き継ぎ熟練した技術者を身につけた者が少なくなりつつありますが、酒田は古くから日本海海運の要として江戸・上方はもとより全国各地との生産品の流通も活発でありました。そして、先進各地の優れた文化や進んだ工法を身につけた工人の流入、また三十六人衆による町政の運営や廻船問屋の豊かな経済力による生活・文化の高さが、酒田職人の技量を育成・向上させ、また名工達の仕事が手工業技術全体の水準を全国で屈指のものに引き上げたと言われていました。

この機会に是非伝統を受け継いでいる酒田の工芸品の素晴らしさをご覧頂きたいと思えます。展示にあたり資料を御提供頂きました方々に厚く御礼申し上げます。

主な展示資料目録

土器・陶器

- 鶴渡川原人形 ◆ 桃太郎 ◆ 弁慶と牛若丸 大石やゑ作
- 広田人形 ◆ 三番叟 ◆ 扇舞 鈴木兵吉作
- 出町人形 ◆ 神功皇后と武内宿弥
- 東禅寺焼 ◆ 花瓶 山口正博作
- 本間焼 ◆ 茶碗 池田退輔作 ● 獅子頭 ● 土鈴



ガラス

- 菓子入 ● 蠅取り器 ● 1升瓶
- ファッショングラスと花瓶 日本海硝子(有)製



金工

- ① 鑄金 ● 獅子頭文鎮 酒田鑄造(株)製
- ② 彫金 ● 小柄 ● 煙管 鈴木友三郎作
- 目貫 ● 柄頭・縁 鈴木友三郎作
- ③ 鍛金 ● 短刀 池田吉包作 個人蔵
- 魔斬 池田吉包(2代)作



木工

- ① 指物 ● 飾棚 斎藤兼吉(如斎)作
- 桐小棚 高橋徳五郎作
- 懸硯 伊藤久内作
- 懸硯 佐々木武志作
- 文机 斎藤正一(二代目如斎)作
- 衣裳箆筒 ● 錢箱 ● 岡持



② 木彫

- 光丘彫 ◆ 器局 ◆ たばこ盆
- 獅子頭
- 看板(翠峯楼) 本多芳寿作



③ 樽工

- 鏡樽
- 角樽
- 手桶
- お櫃



④ 曲物

- 菓子器 田畑久作
- わっぱ



⑤ 玩具

- こけし 白畑よし作
- 木馬・犬
- 白鳥 あすなろ(株)製
- 兎 夢工房製

